

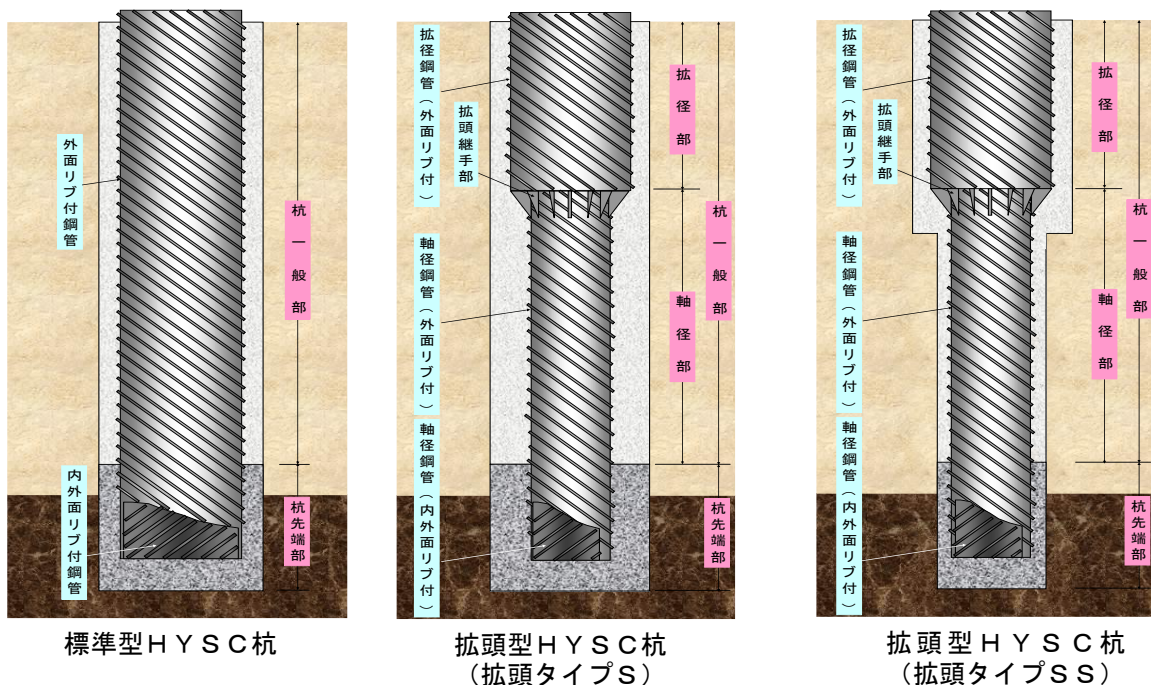
鋼管ソイルセメント杭 HYSC杭工法

HYSC杭は、地中に造成したソイルセメント柱にリブ付鋼管を挿入して合成杭を築造する工法です。ソイルセメントと鋼管の一体化により、高い支持力特性を発揮します。

工法概要

HYSC杭は、ソイルセメント柱径を有効径とする杭の鉛直抵抗および水平抵抗が期待できます。このため、鋼管の材料強度を有効に活用でき、杭の鉛直抵抗・水平抵抗と鋼管の材料強度とのバランスがとれた合理的な設計が可能です。

設計条件に応じて標準型、拡頭型(2タイプ)を選択でき、更に経済性を追求できます。



標準型HYSC杭

拡頭型HYSC杭
(拡頭タイプS)

拡頭型HYSC杭
(拡頭タイプSS)

特徴

①優れた支持力

ソイルセメント柱を有効径とした高い支持力を発揮します。場所打ち杭を上回る周面摩擦力、中掘り杭と同等の先端支持力が得られます。

②適用性

地盤条件に対する適用性が高く、被圧地下水に対しても適用が可能です。最大杭径：φ1700mm、深度：L=67mの実績があります。

③掘削残土の削減および周辺地盤への影響

原位置攪拌によりソイルセメント柱を造成するため、周辺地盤への影響が少なく、掘削残土を低減できます。

技術評価

(財)国土開発技術研究センター HYSC杭(鋼管ソイルセメント杭工法)

※本工法は、ソイルセメント合成鋼管杭工法協会による共同開発技術です。

2021
150

おかげさまで、私たち鴻池組は
2021年で創業150周年

まじめに、まっすぐ
KONOIKE

(株)鴻池組 技術本部 土木技術部
大阪 TEL 06-6245-6594
東京 TEL 03-5201-7911
<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>